

まなびあ テラス 通信



Vol. 69

8 月

まなびあテラスからの
お知らせを毎月
おとけします

丸木位里・丸木俊・丸木スマ展

丸木位里・丸木俊 《原爆の図 第十二部 とうろう流し》一九六八年
原爆の図丸木美術館蔵



東根市美術館では、七月三十一日より《原爆の図》で知られる水墨画家・丸木位里とその妻である油彩画家・丸木俊、そして七十歳を過ぎて初めて絵筆をとった位里の母・丸木スマの展覧会「丸木位里・丸木俊・丸木スマ展」を開催しています。

一九四五年八月六日、広島に人類最初の核兵器、原爆が投下されました。知らせを聞いた広島出身の丸木位里と妻の俊は、数日後に現地に入り、そこで目のあたりにした惨状の記憶や多くの被爆体験者の証言をもとに、夫婦共同制作で《原爆の図》を描き、国内各地や世界二十カ国以上で巡回展を行いました。その後《原爆の図》を一つの場所で見られるようにと、一九六七年埼玉県東松山市下唐子の都幾川のほとりに美術館を開館。丸木夫妻は三十年以上の歳月をかけて《原爆の図》全十五部を完成させました（第十五部《長崎》は長崎原爆資料館が所蔵）。

本展では、《原爆の図》第十二部 とうろう流し《が展示されています。毎年八月六日には、原爆で亡くなった人々への慰霊と、平和への願いを込めて広島市内を流れる川に灯籠を流します。《とうろう流し》には画面いっぱい、灯籠を流す少女や、死者の姿が描かれています。休まることのない死者たちの想いを重ね描かれた作品です。この貴重な作品を是非ご覧いただき、戦争や平和の尊さを考える機会に繋がればと思います。

そのほか展覧会では、俊が描いた《母子像》や、東北の風景を描いた位里の水墨画、スマ独自の視線でとらえた生命のよろこびにあふれる世界を描いた絵画など「第一章 原爆を描く」「第二章 東北に根ざした暮らし」「第三章 丸木スマの絵画」にわけて、三人の作品を紹介しています。

講演会

「いのちをめぐる画家たちのまなざし
— 丸木位里・丸木俊・丸木スマの世界 —」

本展の監修者である岡村幸宣氏（原爆の図丸木美術館学芸員・専務理事）より、作家、作品についてお話を伺います。

日時：9月4日（日）14:00～15:30

場所：講座室 対象：どなたでも

定員：20名 参加費：無料（※）

※参加には展覧会チケットまたは観覧済半券の提示が必要です。（お持ちでない方は当日会場にてご購入ください）

会 期：開催中～10月10日（月・祝）

会 場：まなびあテラス 特別展示室、市民ギャラリー

開館時間：9:00～18:00（最終入場 17:30）

入 場 料：一般 800 円（700 円）、高校生以下 400 円（300 円）

※（ ）内は前売料金および 10 名以上の団体料金

※各種障害者手帳（又は障害者手帳アプリ「ミライロ ID」）をご提示の方と
その同伴者 1 名、および未就学児無料

休 館 日：8 月 8 日（月）、22 日（月）、9 月 12 日（月）、26 日（月）

主催：まなびあテラス

共催：山形放送、NHK エンタープライズ中部

協力：原爆の図丸木美術館

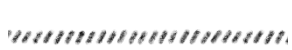
美術館感染症拡大防止対策

感染症拡大防止対策のため、ご観覧の際に個人情報のご記入をお願いします。混雑時は会場内の入場制限を行っております。また、状況により内容の変更や、中止になる場合がございます。感染症対策にご協力をお願いいたします。

丸木展関連企画のお問合せ・お申込みは、電話 0237-53-0229 または総合案内カウンターまで



一般書



児童書

… 今月の新刊案内 …



幅広い年齢の方にご利用いただける、自由な賑わいのある図書館です。



new☆

「行くな来るな 動くなジッとしていろ。そんな毎日だからこそその閉じこもりから生まれた笑える思いつきの数々」。コロナ禍の鬱屈した日々も、言葉遊びの達人伊奈かつぺいが笑いに変えます。
『産経新聞』東北版、『みんなよう春秋』連載をもとに書籍化。

『言葉のおもちゃ箱』

伊奈かつぺい/著
本の泉社
914.6 / イナ



凸ボタンがあるとなついつい押ししてみたくなりませんか？ 乗り物のボタンやレストランの注文ボタン、むやみに押しではいけないボタンまで。いろいろなボタンを通して社会とのつながりを学べます。押しボタンに注目したとてもユニークな一冊です。

『押す図鑑 ボタン』

西村まさゆき/編・著
小学館
K530 / ニ



東根市電子図書館



『アメリカン・スタイル BBQ』

佐藤政人/著 誠文堂新光社

『焚き火道具の本-焚き火は楽しい-』

山と溪谷社



いつでもどこでも
電子図書館
CAMP特集

『いちばんやさしいキャンプ入門』

長谷部雅一/著 新星出版社

『メスティン自動レシピ』

メスティン愛好会/著 山と溪谷社



ワークショップ スクラップブッキング



思い出の写真をステッカーやマスキングテープで飾ってちょっとおめかし！ デコって楽しいフォトアルバムを作ってみませんか？

日時：9 / 4 (日) 13:00 ~ 14:30

場所：アトリエ

参加費：無料

定員：5名 (申込先着順・高校生以上)

持ち物：写真5~7枚程度 (加工してよいもの)

申込み：電話 (0237-53-0227) または図書館
カウンターでお申込みください。



おはなし会+plus かざぐるまをつくろう

よみかかせを聞いた後に、かざぐるま作りキットを配布します。

日時：8 / 7 (日) 10:30 ~ 11:00

場所：図書館 相談カウンター前

参加費：無料

対象：県内在住の方

申込み：不要

展示コーナー

展示コーナーでは、様々なテーマを取り上げて本の紹介をしています。

【一般展示コーナー】

大人の自由研究

芥川賞・直木賞

【ブラウジングコーナー】

ご長寿に学ぶ

【児童展示コーナー】

きせつの本 こわーい本特集 色がでてくる本

大人の自由研究
童心に返って、「好き」
なことを突き詰めて
みませんか？



こども上映会 「うっかりベネロペ」 ベネロペ、かずをかぞえる編

日時：8 / 21 (日)

13:30 (開場) 14:00 ~ (上映)

約30分

場所：講座室

参加費：無料

定員：15名 (申込先着順・小学2年生以下は保護者同伴)

申込み：電話 (0237-53-0227) または図書館
カウンターでお申込みください。



NHK 忍たま乱太郎 SDGs パネル展

NHK で放送中のアニメ「忍たま乱太郎」のキャラクターが SDGs について紹介するパネルを展示します。

日 時：8 / 19 (金) ～9 / 4 (日)
会 場：エントランスホール
協 力：NHK エンタープライズ中部

7月5日～7月9日、市民ギャラリーではまなびあテラス登録団体「創造美術会山形支部」の会員5名による絵画作品の展示が開催されました。会員の皆様が丹念に描いた静物画や風景画、目を引く鮮やかな抽象画など、多数の油彩作品が会場いっぱい展示されました。



美術館

二つの展示スペースとアトリエを会場に、古今東西のさまざまな美をご紹介します。

2022 第6回創造山形展

市民活動支援センター

市民活動支援センターは、さまざまな分野で活動している人たち、これから活動したいという人たちを支援する拠点施設です。団体登録していただく各種特典があります。詳しくは総合案内までお問い合わせください。

ひがしね祭協賛事業 田楽提灯づくり ワークショップ

今回制作した田楽提灯のほか市内で作られた立体提灯や神輿などを8/16(火)までエントランスホールに展示しています。ぜひご覧ください！



7月16日、17日、18日の3日間、ひがしね祭の伝統行事「七た提灯行列」の田楽提灯を制作するワークショップを行いました。講師はshok for 伝承文化実行委員会こども教室の皆さんが務め、まなびあテラスポーターズクラブのメンバー9名が参加しました。絵のテーマは「わたしが紹介したい東根の好きなところ」。東根の様々な風景を、講師の皆さんに教わり何度も塗り重ねながら、鮮やかな色彩で描いています。側面には七たの願い事を書き、個性豊かな提灯が完成しました。

寺に伝わる幽霊画の実物も展示し、暑いこの時期に少しの体験ができる会となりました。



怪談作家・黒木あるじ氏をナビゲーターに、怪談などを切り口に東根を読み解く「ひがしね百物語」。7月18日に開催した第七夜では、女性の幽霊画が多く描かれた背景や、雪女や座女といった怪にも焦点を当て、女幽霊について考察しました。当日は東根市長瀬地区の長源寺に伝わる幽霊画の実物も展示し、暑いこの時期に少しの体験ができる会となりました。

黒木あるじとひがしね百物語 第七夜「をんなゆうれい考」

創学館高校・モノづくり倶楽部の皆さんが講師役となり、小学生を対象としたものづくりの仕組みを学ぶ講座を行いました。7月16日は「携帯型発光LEDライト」、7月17日は「ペットボトル扇風機」製作を体験しました。参加者は基盤づくりやはんだ付けに挑戦し、身近な電化製品が動く仕組みを学びました。



夏休み体験教室 ものづくり工作教室

● 銅版画講座 想いを伝える絵葉書を作ろう ●

プレス機を活用し銅版画を制作する全4回の講座です。

日 時：9 / 3 (土)・10 (土)・24 (土)・25 (日) 全4回
各日 13:00～16:30

会 場：講座室・アトリエ 参加費：3,000 円

対 象：県内在住の中学生以上で、全日参加できる方

定 員：10 名 (抽選制)

講 師：若月公平氏 (銅版画家・東北芸術工科大学名誉教授)

持ち物：汚れてもいい服装またはエプロン、下絵 (コピー用紙の中央に、HB の鉛筆で 9×12cm サイズの枠内に描く。絵柄は自由)

申 込：受付締切 8 / 15 (月)

参加決定者への電話連絡：8 / 17 (火)

市民活動支援センターだより「スッペ！」vol.1 を発行しました！

市民活動支援センターでは新たに、まなびあテラスで活動する登録団体の紹介や活動のレポート、センターのイベントや講座室の使い方などをご紹介します季刊誌を発行しました。まなびあテラス館内にて配架中ですので、ぜひお手に取ってご覧ください。

8・9 月のイベント

● まなびあプチ夏祭り ●

水ヨーヨー釣りや傘ロケット作りができる縁日を行います。

日 時：8 / 13 (土) 10:00～12:00

※材料なくなり次第終了

会 場：講座室他 参加費：無料 対 象：どなたでも

● パタパタ動くおもちゃをつくらう ●

植物からとれた天然の「色」と「紙」、「竹」でおもちゃを作ります。

日 時：8 / 28 (日) 10:00～12:00

会 場：講座室・アトリエ 参加費：1,000 円

対 象：山形県内在住の小学生 (小学2年生までのお子様は保護者の同伴必須) 定員：10 名 (申込先着順)

講 師：吉田勝信氏 (グラフィックデザイナー)

各イベントのお問合せ・お申込みは、電話 0237-53-0230 または総合案内カウンターまで

※状況により中止する場合がございます。 ※ワークショップ中の様子を写真・動画で撮影し、広報等に使用する場合があります。

【重要】新型コロナウイルス感染拡大防止への対応について（おしらせ）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、まなびあテラスでは引き続き以下の通りの対応を実施いたします。
ご利用者の皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

【期 間】8月1日（月）～ 当面の間

【利用可能】●図書館…貸出、返却、予約、本の検索、インターネットコーナー
閲覧席、ブラウジングコーナー、学習室
（それぞれ一部制限有）

●美術館…通常開館。市民ギャラリーの一般利用可能（条件有）

●市民活動支援センター…貸館、プリント工房利用可能（条件有）

【利用不可】◆図書館…おはなしのへや、視聴覚コーナー

◆エントランスホール…休憩・食事のための座席を撤去
（ロッカー前、情報ラウンジのみ椅子を設置）

休館日

・8月8日（月）

・8月22日（月）

※第2、第4月曜日休館。
ただし月曜が祝日の場合は開館し、翌平日休館。

【館内施設・部署の対応について（詳細）】

【図書館】

館内ではマスクを着用し、短時間でのご利用をお願いします。

〈学習室利用について〉

入替制かつ一部席を間引いて利用再開しております。

学習室1（図書館資料及び自身の資料を持ち込んでの自習席）：20席

学習室2（パソコン・電卓を持ち込んでの自習席）：5席

◆月曜～土曜日 10:00～14:00/15:00～19:00

◆日曜日・祝日 10:00～13:30/14:30～18:00 ※1日1人1回のみの利用に限る。

・利用対象を山形県内在住・在学・在勤の方のみとします。

・利用に際して入室記録を保管し、官公庁の要請等で当該情報を利用する場合があります。

その目的外で使用することはありません。

・感染防止対策のため、出入口を常時開放します。

・学習室の予約・延長はできません。

・途中入席の場合、指定時間内の利用となります。

・30分以上離席する場合は、利用票の返却をお願いします。

【美術館】

●丸木位里・丸木俊・丸木スマ展 開催中～10月10日（月・祝）

※入場に際して検温、署名カードへの記入等、まなびあテラスの感染症対策にご協力をお願いします。詳しくは館内掲示・ホームページをご覧ください。

【講座室・アトリエ】

講座室の利用可能人数を、講座室Aを最大17名、Bを6名まで（A・B利用の場合は23名まで）、アトリエは5名までとします。

貸館利用には、「施設利用に関するチェックリスト※」で順守事項及び利用条件を確認し、条件を満たさない場合はご利用できません。

※ホームページからダウンロード可能

利用申請について、貸出料金徴収を当日払いとします。

利用申請を窓口だけでなく、E-mail や FAX でも対応可能とします（電話予約不可）。

・利用時間は、1団体につき1日1回、最大4時間まで。利用可能時間は閉館30分前まで。

前後に1時間の除菌清拭・換気時間を設けます。

・利用されるすべての方が、山形県内在住・在学・在勤者である事を条件とします。

（場合によっては、後日参加者名簿をご提出いただく場合がございます）



●体調不良の方、発熱、風邪の症状のある方の来館はご遠慮ください。マスクの着用をお願いします。

●学習室・講座室などの施設のご利用、各種イベントへの参加は、山形県内在住・在学・在勤の方のみ。

●美術館観覧、当館イベント参加の際提出の、氏名・電話番号等の個人情報は、当日から2か月間保管します。

東根市公益文化施設

まなびあテラス 通信

第69号 2022年8月1日発行

〒999-3730 山形県東根市中央南1丁目7-3
TEL:0237-53-0223(代表)

開館時間

【図書館】 9:00～20:00(平日)／9:00～19:00(日祝)

【美術館】 特別展示室・市民ギャラリー 9:00～18:00 アトリエ 9:00～21:30

【市民活動支援センター】 9:00～21:30

ブーランジェリー・カフェ「オイッティ・マルシャン」 9:00～21:30(L.O.21:00)

【図書館】 TEL:0237-53-0227 FAX:0237-42-1295

【美術館】 TEL:0237-53-0229 FAX:0237-42-1296

【市民活動支援センター】 TEL:0237-53-0230 FAX:0237-42-1296